

# 令和2年度 みくま 事業計画書

## 1 はじめに

平成25年に就労継続支援A型事業所として開設以降7年が経過した。この間、利用者への東京都の最低賃金の支払いと施設経営黒字の両立という難しい舵取りが求められながら、何とか事業を継続してきた。しかし、平成29年度後半から30年度にかけて、利用者の減少や就労支援事業収支の赤字などの経営課題が表面化し、令和元年度はこの改善が大きな課題となった。利用者募集の強化や作業収益の増収、コスト削減に取り組み、施設経営又就労支援事業会計ともに黒字転換が図られ、経営状態の建て直しはある程度進んだといえる。しかし、依然予断を許さない状況にあり、令和2年度の主な課題も引き続き経営基盤の強化となる。利用者の増員はまだ目標数に達していないうえ、東京都の最低賃金の上昇傾向は今後も続くと予測され、施設会計、就労会計ともに安定的な黒字収支が見込める状況にはなっていない。また、これまで事業管理を兼務で行ってきているが、難しい事業課題が山積していることを考えると、専任の管理体制のための人材育成も重要な課題である。限られたスタッフで日々の利用者支援と経営課題への対応を行っていくためには、様々な工夫と職員間の連携、協同が必要と考えている。

## 2 事業概要

- 1) 施設名 みくま
- 2) 事業種別 就労継続支援A型
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-12
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 17名
- 6) 利用現員 17名（令和2年3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成25年 1月 1日
- 9) 職員

管理者	1名	（兼務：常勤換算1.0）
サービス管理責任者	1名	（常勤換算1.0）
職業指導員	2名	（常勤換算1.8）
生活支援員	4名	（常勤換算1.4）

## 3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
- 3) 安心と希望の持てる生活

## 4 基本方針

### 1) 就労支援

弁当製造の業務を中心として「みくま」の従業員として能力が発揮できるように、利用者の作業能力や体調等に合わせて作業配分を行う。また、一般企業で働く為のステップアップとして、就労に向けた相談や就職活動に関して支援する。

### 2) 生活支援

利用者が安心、安定した生活ができるよう支援を行う。特に一般企業へのステップアップを希望している利用者に対しては、生活面等の課題を把握し就労に向けた生活全般の支援を関係機関と連携しながら行う。

## 5 実施事業（活動内容）

### 1) 就労支援事業

- (1) 弁当製造・販売
  - (2) 清掃及び受注事業
  - (3) 緑化推進事業
- 2) 行事
- (1) バスハイク（年1回実施）

6 日 課

開所・作業	7 : 3 0 ~ 1 2 : 2 0
昼礼	1 2 : 2 0 ~ 1 2 : 3 0
休憩	1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0
作業	1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0
記録	1 7 : 3 0 ~

7 重点課題・目標

1) 活動

(1) 事業安定化のための取り組みを実施する。

① 専任管理者の育成

- ア. 管理業務の年間の流れに従い計画的に業務を行う。
- イ. 課題を発見し、具体的な改善策を提案し実行する力を身につける。
- ウ. 業務全般において多角的な視点による適切な判断基準を身につける。
- エ. 全職員の業務スキルを把握し、個々に応じた助言、指導を行う力を身につける。

② 利用者数の確保

- ア. 関係機関訪問及び電話連絡年間計画表をもとに、ワークセンター夢の樹移行、定着支援、バウムと連携し、近隣の特別支援学校、就労支援センター、ハローワーク、特定相談支援事業所、就労継続支援 B 型事業所等へ利用者募集を行う。
- イ. 法人機関紙およびホームページへの掲載、チラシの配布、ポスター掲示などの広報活動を行う。

《利用者数増加目標数》

	雇用契約者	利用契約者	1日平均利用者数
令和2年3月末	11名	6名	12.1名
令和2年度目標	12名	8名	13.6名
増員目標人数	1名	2名	1.5名

- ※ 雇用契約者増員分は週5日利用
- ※ 利用契約者増員分は3名とも週4日以上利用

《利用者数増加による訓練等給付費収入及び当期資金収支差額目標額》

	訓練等給付費収入	サービス推進費	当期資金収支差額
令和元年度実績	1,980万円	530万円	0円
令和2年度目標	2,440万円	390万円	190万円
増額	460万円	△140万円	190万円

③ 就労支援事業の強化

ア、弁当製造事業の収益増加

- ・弁当配達ルートに沿って、会社等へチラシを配布し新規に顧客を増やす。
- ・法人内利用者、関係者、近隣等へ弁当のチラシを継続的に配布する。
- ・利用者が徒歩で配達できる顧客を増やす。

- ・おにぎりセット等弁当の委託販売先を増やすための営業活動（電話・チラシ配布）を行う。
- ・委託販売先の希望を聴取しサイドメニュー等の新メニューを開発する。
- ・新規販路開拓による1日販売個数の増加、おにぎりセットの販売、店頭販売を実施する。

	1日平均 日替弁当売上	1日平均 おにぎり	年間売上
令和元年度見込	200個	5個	2,270万円
令和2年度目標	209個	10個	2,400万円
増加分	9個	5個	130万円
(増加分内訳)	売上個数増加	95万円	
	おにぎりセット販売	35万円	

#### イ、新規作業への取り組み

不定期の作業を含め、作業時間や人員を有効に使える作業を積極的に取り入れる。

#### ウ、その他の作業を含めた収益増加（概算）

	目標作業収益（円）	令和元年度	差額
弁当製造事業	2,400万	2,270万	130万
清掃作業	449万	449万	0
緑化推進事業	130万	130万	0
名刺の作成作業	24万	22万	2万
その他受注作業等	10万	7万	3万
合計	3,013万	2,878万	135万

#### (2) 弁当製造事業の充実

内容充実のため、以下の取り組みを実施する。

- ① 衛生管理の徹底 — マニュアルを遵守するとともに、異物混入防止を徹底する。
- ② メニューの多様化 — メインメニューおよび副菜の種類を増加する。
- ③ 弁当内容の充実 — 盛り付け方法および彩りを工夫し、購買意欲を促進する。

#### (3) 就労支援の充実

利用者の状況を把握し、みくまで安心して働くことができるように支援を行う。また、一般就労を希望する利用者には、作業を通して、業務の正確性や他者とのコミュニケーション能力が向上できるよう支援を行う。

- ① 個別面談を実施し、個別支援計画の作成、評価、見直しを徹底し、心情面や作業面等様々な視点をもとに利用者の状況を把握し一貫した支援を継続的に行う。
- ② 一般就労を目指す利用者には、希望する職種や働き方など具体的なイメージが持てるように、就労支援センターと連携し、就職活動の支援を行う。

## 2) 人材育成

### (1) 副施設長

※上記1) (1) ①に記載。

### (2) 全職員

- ① 事業方針を把握した上、事業計画に従い業務に携わる。
- ② ケース記録等情報共有に必要な記録内容のスキルを向上し、個別支援計画に沿っ

た支援を行う。

- ③ 利用者の心情理解、リスク管理、支援技術など基本的スキルを向上する。

### 3) 経営管理

- (1) 毎月、月次試算報告を行い、財務状況について職員の理解を深め、経営的視点の共有を図ると共に、年度の収支予測を丁寧に行い、黒字収支に向けた目標を随時確認、または必要に応じて変更する。

## 8 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

## 9 健康管理

定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族、保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

## 10 防災計画

管理者の指示のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮 副施設長

連絡担当 サービス管理責任者及び生活支援員

救助担当 職業指導員及び生活支援員

## 11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。